



【刊夕日八十二月一十】

八九分まで漕つけた 休業警銀の和議整理

斯んでこそ復活實現の模様

順調に行けば明春二三月頃
休業せる警銀が最後の萬全なる注意を拂へ各關係
復活策として和議を申立てる事象が之れに當つたら
たのは去八月二十六日であ
る、其後三ヶ月を経た今
町辯護士真木恒、福島市會
計士本田作五郎兩氏に
委員を 任命された
整理進捗は漸く八九分まで
漕ぎつけたらしく近く愈々
正式報告をなす模様である
之れが司法當局に是認さる
れば開始決定を見て和議管
財人が立ち爾後の

軍教査閲 終つて二日

に亘る演習

縣立警中の軍教定期査閲は右に對し下年生六百名の見
出張の伊井泰助中佐により
今廿八日若松廿九日聯隊から學がある

白井家に大關係ある 震災熱海の埋立會社

全く無被害で温泉の湧量を 増加す持續するなら却て幸福

中町警城銀行の休業起伏に
大責任を有する重役の白井
一家にとつて至大の關係あ
る伊豆半島熱海の埋立會社
社は同地に於ける今回の震
災に殊に

大激震 地帯にある

増加す持續するなら却て幸福

中町警城銀行の休業起伏に
大責任を有する重役の白井
一家にとつて至大の關係あ
る伊豆半島熱海の埋立會社
社は同地に於ける今回の震
災に殊に

休日曜大祭日
一ヶ月 二十五日
二ヶ月 二十五日
三ヶ月 二十五日
四ヶ月 二十五日
五ヶ月 二十五日
六ヶ月 二十五日
七ヶ月 二十五日
八ヶ月 二十五日
九ヶ月 二十五日
十ヶ月 二十五日
十一月 二十五日
十二月 二十五日

作業中 止中であつ

た爲めに伊東方面の運搬道
路の石垣が僅少崩壊したる
ばかり全く無被害であるの
みならず掘抜き二ヶ所の湧
泉が非常に増量して之れが
一時的 のものでな
いとすれば却て幸福であら
うと傳へられてゐる、殊に
震災直後に於ける同地方の
復興氣分は交通方面の修理
その他さまざまの勢ひを以
て振立つてゐるから土地
關係の株價に影響はないで
あらうと

町道使用の 繼續許可

二十八日土木 委員會に於て

平町では廿八日午前十時か
ら左記に關して町會議事堂
に土木委員會を開いたが下
榮社代表佐々木健一郎氏か
ら出願の字長橋町から十五
丁目に至る南町裏線道路
の軌條布設使用は本月限り
で期間が切れるので更に五
ヶ年繼續を請ふもので從來
無料使用であつたものを向

愛谷の可動セ 二千餘圓の豫算狂ひ

高騰したるセメント購入で 組合の幹部連が血眼の狂奔

石城郡夏井川から分流する
愛谷水利の可動堰改修は本
月初め十三萬三千五百圓の
工事指令を受けて過般盛大
なる地鎮祭を舉行すると同
時に
血眼に なつて廉價
購入に狂奔されてゐるが既
に全國の大會社が協定を了
してゐるので即今擬でも動
かざる一方に於ては夏井村
外三ヶ町村五百二十町歩の
灌漑關係地元からは
右改修 に八萬圓を
負擔し大體十四萬五千圓の
見込めるものに對して俄
然五十餘圓の高騰を示し
少なく も四千餘圓を削減した
上を要する同購入費に二千
圓以上の違算を生じ同組合
管理者である、阿部夏井村
長を初め幹部の青木清
郡内郷村の酒造業馬目家の

米價對策 今二十八日

平町に於て

産業組合聯合會主催の米價
維持對策協議會は廿八日午
前七時から平町團體事務所
樓上で開催されたが會合は
石城郡下の産業組合二十六
郡會及及び平穀支所關係
者を合せて三十餘名で聯合
會から會長の池田長八縣勸
導席から小松農林主事兩氏
臨席し左記三件に關して各
平町字白銀町二 小松千枝子(五
九)十一月廿三日午前十一時十分

愛谷の可動セ 二千餘圓の豫算狂ひ

高騰したるセメント購入で 組合の幹部連が血眼の狂奔

石城郡夏井川から分流する
愛谷水利の可動堰改修は本
月初め十三萬三千五百圓の
工事指令を受けて過般盛大
なる地鎮祭を舉行すると同
時に
血眼に なつて廉價
購入に狂奔されてゐるが既
に全國の大會社が協定を了
してゐるので即今擬でも動
かざる一方に於ては夏井村
外三ヶ町村五百二十町歩の
灌漑關係地元からは
右改修 に八萬圓を
負擔し大體十四萬五千圓の
見込めるものに對して俄
然五十餘圓の高騰を示し
少なく も四千餘圓を削減した
上を要する同購入費に二千
圓以上の違算を生じ同組合
管理者である、阿部夏井村
長を初め幹部の青木清
郡内郷村の酒造業馬目家の

馬目家の計

石城郡内郷村の酒造業馬目家の

と返歌しました其ころは入れさてもお身はいかなるべからずなまはれと云ふ語は諸曲から取り
お前さんは出家で世の塵り人の身の果なれば彼程の才
を思ひなされるお方と思ひ學を持ちながら一處不住の
ましたから來來の光明世界 黒染の行雲流水の身となら
を志して此假りの世の假りれしかと問はるゝに隠す由
の宿にうしろ髪を引かれこもなく我も昔は弓取りの
ろを止める様な未練を起 儀藤太が九代の後葉佐藤右
すなよと思へばこそお断り 兵衛尉憲清今出家して西行
をしました御難儀の様子 法師と申すなりと夫から色
は見兼ねますからあばらや々の話しの末西行心に思ふ
にてもお厭ひなくばと請ひ 確遊女たものにてはあ
事を詠みましたが此句であつた芭蕉の句

併句

液しぐれ 雨れ (八)

満壽莊主人

終局を 告げしむる

よりも復活後の同行經營に
災に殊に

慈善演奏から 壹百餘圓

處分を任せて 町役場に寄附

平町警城銀行好者によつて催
された慈善三曲演奏會は既
報の如く二十七日收支算
を了し貧困者救護の爲めに
寄附する剩餘金は百一圓二
十九錢出來たので即日處分
の一切を町役場當局に任せ
て全金額を寄附した

平の人事

結婚

石城郡泉村下川字神樂一三四 江
尻信孝(三〇)と平町字二丁目二
〇野上政子(二一)十一月廿五日

死亡

平町字二丁目二六 藤岡ふか(四
五)十一月廿五日午前五時
平町字久保町二六 金三郎母無職
せん(八五)十一月二十七日午前
四時
平町字白銀町二 小松千枝子(五
九)十一月廿三日午前十一時十分

着工の 諸準備中

あるが最初豫算をとつたキ
要材料のセメント相場が平
町に於ける水道擴張工事に
の購入並に一樽二圓七十錢
を見込めるものに對して俄
然五十餘圓の高騰を示し
少なく も四千餘圓を削減した
上を要する同購入費に二千
圓以上の違算を生じ同組合
管理者である、阿部夏井村
長を初め幹部の青木清
郡内郷村の酒造業馬目家の

右改修

に八萬圓を
負擔し大體十四萬五千圓の
見込めるものに對して俄
然五十餘圓の高騰を示し
少なく も四千餘圓を削減した
上を要する同購入費に二千
圓以上の違算を生じ同組合
管理者である、阿部夏井村
長を初め幹部の青木清
郡内郷村の酒造業馬目家の

米價對策 今二十八日

平町に於て

産業組合聯合會主催の米價
維持對策協議會は廿八日午
前七時から平町團體事務所
樓上で開催されたが會合は
石城郡下の産業組合二十六
郡會及及び平穀支所關係
者を合せて三十餘名で聯合
會から會長の池田長八縣勸
導席から小松農林主事兩氏
臨席し左記三件に關して各
平町字白銀町二 小松千枝子(五
九)十一月廿三日午前十一時十分

馬目家の計

石城郡内郷村の酒造業馬目家の

と返歌しました其ころは入れさてもお身はいかなるべからずなまはれと云ふ語は諸曲から取り
お前さんは出家で世の塵り人の身の果なれば彼程の才
を思ひなされるお方と思ひ學を持ちながら一處不住の
ましたから來來の光明世界 黒染の行雲流水の身となら
を志して此假りの世の假りれしかと問はるゝに隠す由
の宿にうしろ髪を引かれこもなく我も昔は弓取りの
ろを止める様な未練を起 儀藤太が九代の後葉佐藤右
すなよと思へばこそお断り 兵衛尉憲清今出家して西行
をしました御難儀の様子 法師と申すなりと夫から色
は見兼ねますからあばらや々の話しの末西行心に思ふ
にてもお厭ひなくばと請ひ 確遊女たものにてはあ
事を詠みましたが此句であつた芭蕉の句

併句

液しぐれ 雨れ (八)

満壽莊主人

終局を 告げしむる

よりも復活後の同行經營に
災に殊に



馬の正し い飼ひ方 (三)

骨軟症豫 防と飼料

然るに本病の多發する地方では前にも述べた様に次の様な飼養管理を行つてゐた飼養上のあやまり
一、馬の飼料として最も必要な草の代りに藁ばかりを與ふること
二、厩舎に整居して使役も運動もせしめないものに必要以上多量の米糞大豆、又はぬか、糠等の濃厚なる飼料を與ふること
管理上のあやまり
一、厩舎に整居せしめて勞働又は運動をさせないこと
二、馬體の手入が不完全であること
三、厩舎が暗く湿々してゐる等總ての設備が不良であること

以上が原因であつて何故に此等の事項が悪いかを簡單に説いて見やう、
これは即ち單一の藁は健康維持に必要な養分が乏しい爲めに到底多種多様の養分をとつてゐる草の代用にはならない、又穀類によつて之れを補ふことも出来ないものである、
厩舎内に整居安逸させて馬體の手入不良な時は馬の胃腸を害し代謝機能を衰弱せしめるばかりでなく、日

光に曝露せられぬために日光から大切な養分を馬體の表面から吸収することが出来なくなる。

元 詰 G・H・N
葡萄酒 甘 味 葡 萄
ワイ ン ポ ー ト
ス ペ イ ン
¥ 1.10

御婦人の方には少し水を加へて召し上るご風味一そう佳良です

(平二) 西村屋薬舗 (電三)

小學生用長ズボン付

特 製..... 95錢 ヨリ
極 上 品..... 140錢 ヨリ
中 學 生 用
特 製..... 170錢 ヨリ
極 上 品..... 250錢 ヨリ

買 い 良 き 店
5 丁 目

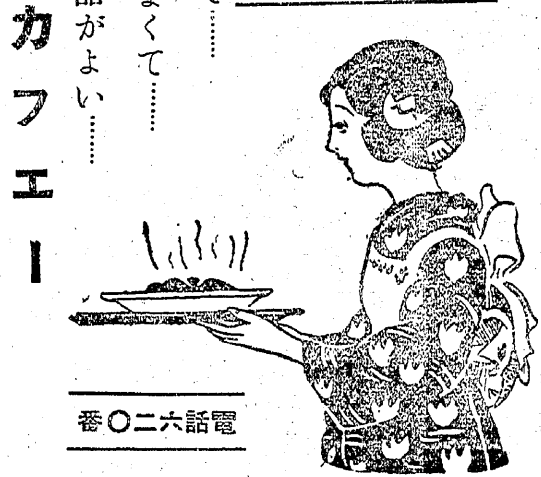
モリタヤ洋品店

電話 352番

ふゆの通學服 断然特賣の超尖端

召上りせまり

安くて.....
うまくて.....



電話二六〇番

品がよい.....
カフエー
タヒラ食堂

藤沼醫院

電話七〇五番

平町 紺屋町

七五三御祝着
御婚禮御結納
福引大賣出し

壓倒的の
繁昌にて

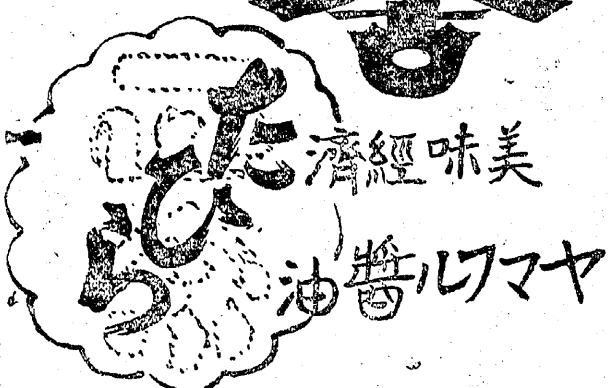
奉仕日延べ
三十日まで

伊 伊 關 吳 服 店

引割
三等 二割
二等 三割
一等 四割

電話 三三三番
一本も空くじなし

磐城代表 銘酒



山崎合名社 電話十番

平田町 電話三五三
サロンの
いつでも生ビールがご用意
きれいな座席で気持ちよく
フレンチ料理の献立
おいしく

高島屋の
優良な
品質と
高品質
高島屋
平田町五丁目
電話九番

親戚 總代

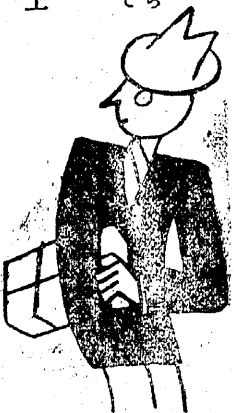
馬目太 馬目福 馬目豊
馬目次
馬目正
馬目三
馬目三
馬目三
馬目三
馬目三
馬目三
馬目三
馬目三

謹啓曾祖父馬目太平儀永々病氣中の處療養不相叶本月廿七日午後四時死去致候に付此段御通知申上候追而葬送の儀は来る十二月一日午後二時自宅出棺當村清光院に於て佛式相替申候昭和五年十一月廿八日 石城郡内郷村

注文部は各種破格の勉強

既製部

オーバー 五圓から 卅圓まで 二重廻し 七圓以上



模範 裁縫

高島屋の洋服 平町驛前 電話三八六番

開店披露

永らく皆様の御恩顧を戴きました 叶屋を廢めまして私此の度左記料理店を開きました何卒倍舊の御引立を願ひます
十一月二十七日

君乃家

平町田町(元千鳥跡) 電話三八二番